

第469回 （9月定例）福崎町議会

福崎町長 橋本省三

皆様おはようございます。第469回定例議会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

平成28年9月議会の開会にあたりご挨拶申し上げます。

今年の夏は、猛暑日が20日を超え、8月21日には37.6℃を記録するなど、大変暑い夏となりました。本町では幸い災害に見舞われることはありませんでしたが、全国各地でゲリラ豪雨また台風による災害が発生いたしました。とりわけ台風10号は迷走したうえ、東北・北海道に痛ましい傷跡を残しました。4月に地震災害にあわれた熊本地方では、豪雨による二次災害にみまわれ、悲惨な状況が伝えられましたが、いまだに余震が続いているようであります。被害を受けられた皆様には、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

その一方では朗報もありました。リオのオリンピックにおける日本人の活躍には目を見張るものがありました。深夜までテレビを見て、一人興奮し、感心をしていました。スポーツにかける情熱は、人を感動させるものだということを改めて実感した次第であります。

平成28年度も、早や5か月が経過いたしました。町制60周年記念事業も順調に推移しており、「田んぼアート」では柳田國男翁の顔がくっきりと浮き出、見ごろを迎えています。10月には刈り取りの収穫祭を予定しています。

第37回山桃忌におきましては、本年は井上通泰先生の生誕150年の年にも当たり、3日間、開催いたしました。日本と韓国の、民俗学の研究者が集われた日韓共同学術会議では、柳田國男先生の残された功績は日本にとどまらずアジアに向けても開かれているとの認識で一致しました。

2日目に行われた、広島県安芸高田市の桑田天使神楽団による神楽上演では、その迫力ある舞が満員の観客を魅了しました。

8月20日には子ども議会を開催し、まちづくりに対する多くの要望、提言の質問をいただきました。当日はライブ中継も行われ、多くの方がご覧になったことと思います。子ど

も議会の会議録は9月下旬までに発行されると聞いています。9月10日にはサンテレビで放映される予定で、インターネットによる録画配信も予定されています。また、9月4日には、文化センターにおいて銀の馬車道人情喜劇の公演を予定していますので、是非、ご覧いただきますようお願いします。

町の特産品でありますもち麦につきましては、その効能がテレビの全国放送で取り上げられました。また雑誌でも大学病院の医師団が多彩な効果を解明したとの記事が掲載され、どちらも大きな反響があり、調整販売を余儀なくされるまでになりました。平成28年度産のもち麦の取れ高は、梅雨時期の雨の影響もあり、作付面積を増やしたにもかかわらず、27年度とさほど変わらない結果となっています。第28期におきましても後期には、調整販売が余儀なくされるものと思っています。現在、精麦につきましては多くの予約申し込みがあり、順調な滑り出しを見せています。28期における第1四半期の財政状況は、営業利益は早くも27期の通年利益を上回っています。

効率的な運営を図るため、利益の一部を充当し、もちむぎのやかたの老朽化した什器調理備品を順次更新していきたいと考えております。

さて、国の情勢に目を向けますと、財務省は8月10日付で、国債と借入金、政府短期証券を合計した「国の借金」の残高が、平成28年6月末時点で1053兆4676億円だと発表いたしました。国民一人当たり（人口1億2699万人：総務省推計）にしますと約830万円になります。高齢化の進展に伴い社会保障費を賄うために借金が膨らんだとのことでした。

一方、内閣府が発表した4～6月期の実質国内総生産（GDP）速報値は住宅や公共投資が好調なため、年率換算で0.2%の増でプラス成長となりましたが、円高の進行で牽引役の輸出が減少し、設備投資、個人消費が低調で景気は足踏み状態が続いているとしています。政府は財政政策に軸足を移し「未来への投資」を旗印に28兆円超の大規模な経済政策を打ち出しています。一人当たり1万5千円の低所得者への給付金や、返済の必要のない「給付型奨学金」の創設など、家計への支援や旧来型の公共投資を行ったりするとしています。現在、地方へ回される予算、事業内容等は示されていません。

小泉改革により非正規雇用枠が上げられ、所得は大きく下げられたままであります。安倍政権が掲げる「1億総活躍社会」が順調に進み、年金や医療介護など社会保障制度が堅持されることを願うものです。

町においては、重点事業のJR福崎駅周辺整備は、辻川界限を含め、社会資本整備事業

として国・県へ事業費確保のための要望を重ねているところです。この事業は住民の皆様にも目で確認ができる状態となっており、大きな期待が寄せられています。なんとか予算の重点配分をお願いしたいものです。議員各位におかれましてもご協力をよろしくお願いいたします。立地適正化計画における福崎町のまちづくりには国土交通省も興味を示し、福崎町まで足を運んでいただきました。今後の計画づくりに期待もあるようでした。

また、昨日、議長とともに国土交通省道路局・都市局において社会資本整備事業の要望活動を行いました。国・県におきましては早くも29年度予算編成に着手しています。本町においても第5次総合計画、地方創生における総合戦略等と照らし合わせ、次年度に対する骨格づくりに取り組んでまいります。

安心安全のまちづくりにつきましては、県と協力し事業を進めています。河川・砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、内水対策、ため池改修、治水、里山防災林等の防災減災事業にも、計画・設計を含め着手していただいているところです。今後も定期的な打合せを行いながら円滑に事業を推進してまいります。

消防に目を向けますと、8月7日に開催された兵庫県消防操法大会において、小型動力ポンプの部で庄分団が優勝という輝かしい成績を収めました。今回で5連覇を達成し、10年間負けなしの偉業となりました。選手の皆さんはもちろんですが、ご家族・地域の協力の賜物だと思っています。

現在、町では行政懇談会を順次開催しています。7月24日の西谷区を皮切りに3年間で町内を一巡し、地域また住民の皆様の声を直接聞かせていただき、行政に反映させようというもので、5年ぶりの開催となります。議員の皆さまにもご参加いただければと思っています。